



市子連マーク

大阪市子ども会

いくせい



大阪市子ども会
育成連合協議会

発行者 中山 良明
平成25年4月1日

発行所：大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックス・パル法円坂 市子連広報調査部 Tel.6941-1116 Fax.6943-8906

鼓笛隊 結成五十周年記念大会 開催

みんなが つないで つないだ 五十年

鼓笛隊隊長 河島 民子

半世紀の歴史の重さに敬意を表し、
主役の子ども達、支えて頂いた関係諸
団体の皆様に厚くお礼申し上げます。

記念大会では、子ども達の培われた
力強い演奏・演技は、広い会場いつぱ
いの皆様に大きな感動を与えてくれま
した。又、大阪府警音楽隊の演奏・演
技からも温かい応援を頂き大変嬉しく
勇気づけられました。

お祝いの会では、行政の方々、大先
輩達、現理事の皆様よりの励ましのお
言葉に改めて厚くお礼申し上げます。
五十一一年目を第一歩とし「強い心」
「強い身体」を持った子ども達を育ん
で参りたいと思います。
最後にもう一度

みんなが つないで つないだ
五十年 おめでとう ありがとう

◎記念大会

平成二十四年十一月十一日(日)

鶴見区民センター

一部 セレモニー

二部 交通安全教室と大阪府警

音楽隊による演奏・演技

三部 子ども達の演奏・演技

◎祝いの会

平成二十四年十一月十六日(金)

KKRホテル

一部 セレモニー・表彰式

二部 歓談



初代隊長 藤明 時雄様 挨拶



鼓 笛 隊 だ よ り

「鼓笛隊 第十六分隊」

聖賢小学校鼓笛隊

田村

聖賢小学校鼓笛隊は、昭和四十二年四月太陽の子供会として誕生しました。

翌年の万国博立柱祭に向けて後援会を立ち上げ、昭和四十三年三月十五日大阪万国博覧会の立柱祭に出場しました。

全盛期には隊員が百名前後おり、全国大会にも出場していました。

現在は年間行事として、春はスプリングコンサート・こどもカーニバル、夏は、聖賢祭り・城東祭り、秋は聖賢小学校の運動会・聖賢ファミリー運動会・鼓笛大会、冬はユニセフ募金活動（当時はボイススカウトと各地を回っていました）、現在は京阪モール前で毎年活動しています。など、地域や大阪市子ども会育成連合協議会（鼓笛隊十六分隊に指定されています。）関連の行事に参加しています。

最近では隊員が三十人前後と以前に比べて少なくなりましたが、トランペット・トロンボーン・アルトホルン・打楽器による演奏とバトントワリングによる演技で編成されています。毎週土曜日聖賢小学校の体育館で練習しています。



「鼓笛隊 第十七分隊」

大阪市子連鼓笛隊

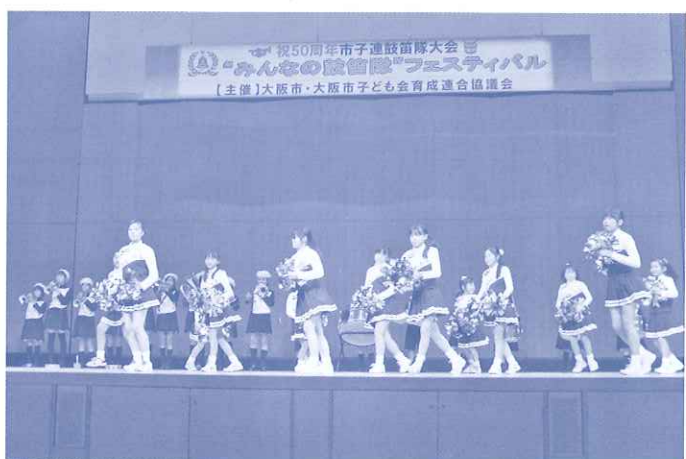
隊長 小倉 史也

私たち十七分隊は鶴見区を中心に活動しております。

鼓笛隊結成当初の隊員はひとつの小学校の生徒で構成されておりましたが、昨今の少子化と子ども達の選択肢の幅が広がったことにより、隊員の減少が続いております。そこで、数年前から鶴見区内の小学校からひろく隊員を募ることにより、現在では四十名で活動しております。

日々の活動は、区民まつり等の地域内の行事が中心で、春や秋等は様々なイベントに呼んでいただいております。また、今年度からは鶴見区の特徴をだすため鶴見音頭をレパートリーに加え歌にも挑戦しております。

これからも子ども達の発表の機会を増やしていき、さらに展開していきたいと考えております。



市子連行事

第四十五回

指定都市大阪大会に向けて

大会実行委員長

西本 修作

私たちスタッフは、八月に行われる指定都市大阪大会に向けての打ち合わせを昨年の十二月から始めました。約十年に一度しか回ってこないようなチャンスに偶然めぐりあわせたことを良いチャンスだと捉え、急ピッチで準備を進めている真っ最中です。

スタッフだけでも住んでいる地域や年齢層が幅広くまとめるのに大変なこともあります。個性溢れるいろいろな意見を取り入れながら物事を考えることはとても楽しく、会議の時間もあっという間に過ぎてしまいます。

今年の三月、大阪市の小学生を対象にしたキャンプに行きました。私たちスタッフメンバーとしては初めてのキャンプでしたが、ひとりひとりが自分で考え行動し、とてもスムーズなプログラム進行となりました。

少し課題の残る内容も目立ちましたが、夏の大きな大会に向けてのスタートとしては、とても

も良かったのではないかと感じています。常に「研修」であることを忘れず、一歩ずつですが前に進んでいます。



第三十回

こども文化祭

最優秀賞

鶴見区 茨田西連合子ども会

優秀賞

西淀川区 大和田連合子ども会
福島区 吉野・新家子ども会



最優秀賞 鶴見区

茨田西七町子ども会

鶴見区代表として出場させて頂いた、私たちは茨田西七町子ども会の二十二

名です。

【日本の和と仲間の輪】をテーマに【日本の祭り】を踊りました。

一年生になったばかりの子から六年生まで全員が昨年の五月から週二回夜二時間の練習を頑張ってきました。

「優勝したい」と本気で頑張る子ども達に親も一緒に練習に参加し踊りました。

ひとつの小さな子ども会の仲間全員でとった「最優秀賞」は子供達の大きな自信と絆になったと思います



各区子ども会活動報告

都島区

第十九回 餅つき大会

中野連合第二振興町会子ども会

今西 美世子

子ども会の恒例の行事としての「餅つき大会」も、今年で十九回目を迎えました。

第二町会子ども会は、特に町会がバックアップして下さり、また、地域の有志で集まる「ほたるの会」の方々が、子どもは地域で育てようという志のもと、全面的にご協力下さっています。そういったこともあり、二町会の子どものみだけでなく、町会の枠を越え、子ども誰でも参加オッケーにしています。

また、お餅を搗いてくださる方の高齢化、また今年は選挙と重なりました関係で、特に親子での参加を募りました。

その効果があり、お父様が、たくさん来て下さったので、助かりました。

天候もよく、たくさんの子どもたちが集まって下さり、みんな笑顔で、お腹もいっぱいになりました。

恒例のビンゴ大会も大盛況！親子で楽しい一日をおくれたか



な。

町会の方々が、空いた土地で無農薬栽培して下さっている大根もお土産に頂きました。

新鮮でとてもおいしかったです。

ご協力して下さい下さっている皆様には、本当に感謝いたしております。

子どもを育て、私たち保護者も一緒に成長できる環境にいることはとても幸せです。

これからも、子ども会活動を通して、大先輩のご指導のもと、宝ものである子どもの成長に貢献できたらと思います。

西区

西区民たこあげ大会

広報調査部 青木 正雄

毎年一月の恒例行事になっている「西区民たこあげ大会」が本年も一月二十日の日曜日に松島子ども広場で開催されました。

当日は好天に恵まれ、微風ではありますが風があり、子どもたちは昨年未の「たこづくり教室」で作った手づくりたこ、また当日広場で開催した「たこづくり教室」で作った手づくりたこ、家から持参したたこなどを思い思いのたこを持って、子ども広場を走り回っていました。



うどん、ぜんざいなどの食べ物、子どもたちに手伝っていただいた餅つき大会、はねつき、コマまわし、竹馬、けん玉などの昔の遊びのコーナーがあり、子ども達とそのご家族・地域の方々等たくさんの人々と楽しい冬のひと時をすごせました。

大正区

大正区子ども会育成連合協議会

倉 高子

平成二十四年に大正区政八十周年と沖縄本土復帰四十周年を迎えることになり、例年のエイサーまつりに、特別事業として与那原大綱曳を招聘して九月八日（土）九日（日）に「綱（ちな）・ちゅう・エイサー祭り」と与那原大綱曳 in 大正区を実施いたしました。

祭りの二ヶ月前には記念行事を紹介するイベントがあり、縄をわからず手で縫り、細い縄を何本も縫り合わせて太い綱にしていく作業を体験しました。

区子連では初日の子ども綱曳に、各校下の少年野球部とキックベースボール部に参加依頼をし、約二百名の少年少女が参加しました。



はるばる沖縄から船で運ばれてきた綱は、子ども用の綱でも二百kgの重さがあります。



東用と西用の二本からなる綱は中央の端が輪になり雄綱と雌綱になっています。

東西に分かれて、ドラやバーランクー鉦鼓（しょうこ）の音色に合わせ、ガーエーが繰り広げられる中、雄綱と雌綱にカナチ棒が差し込まれホラの合図で一斉に引き始めます。

この大綱曳は沖縄県与那原町で四百年前に豊年祈願の神事として始まり、参加すると無病息災・子孫繁栄のご利益があると言われています。

与那原の世話人の掛け声により、一斉に綱を担いで「ホイイヤ」「ホイイヤ」

の掛け声を言いながら会場の中央の対戦場所まで移動、中央に着くまでに会場のあちらこちらから子どもたちが綱曳に参加してきて、最初の三倍位の人数に膨れながら綱引きの開始です。見学の人たちもすぐ側まできて声援をおくり、声援の渦の中で、熱い戦いが三回行われました。

人に揉みくちゃにされながら綱曳はこんな人に人を熱くさせるものと驚きました。

参加した子どもたちは気合を入れて顔を赤くして頑張りました。

琉球の文化を肌で感じる事ができる楽しい体験ができました。



阿倍野区

『六十周年記念式典』

阿倍野区子ども会育成連合協議会が昭和二十七年に発足してから六十年を迎え、平成二十四年十一月十八日に『六十周年記念式典』を区民センターで行いました。

式典の第一部は「こどもフェスティバル」を大ホールで、開会式、ピッコロソーニャ・夢舞ingなどの舞台発表、最後に全員参加の大ビンゴゲームを行いました。

同時に小ホールにて、フランクフルト・ハッシュドポテト・タコせん・飲み物・おにぎり・ポップコーン・射的・千本釣り・ヨーヨーつり・ダーツ・飴つかみ・一円落としなどの模擬店に多くの子どもたちが参加し、行列が出来るほどでした。



また、区子連主催で毎年夏休みに行われている、「やまざとステイ写真展」の展示やジュニアリーダー達によるパフォーマンスが行われ、小雨降るなかお年寄りから子どもまで多数の参加でにぎわいました。

式典の第二部は、ホテルにて各種団体代表百余名が参加して「六十周年記念祝賀会」を行いました。

結成六十周年を記念して『六十周年記念誌』を発行しました。

最後に、記念誌の表紙の言葉を記し、地域の皆様、関係諸団体の方々と一層の努力をしていきたいと思ひます。

笑顔であふれる町あべの
そんな町で
元気に育ったあべのつ子は
私たちのだからです



生野区

第二十回生野区子どもカーニバル

生野区子供会育成連合会

二月十七日(日)、第二十回生野区子どもカーニバルが開催されました。

当日は少し寒かったですが、子どもたちが日々練習に励んできた、ダンスやバレエ・合唱・舞踊・ストリートダンス等々の発表が行われ、また、屋外では模擬店が出店され、楽しい一日でした。

毎年恒例になっている行事としましては、ソフトボール大会・たこづくり教室・たこあげ大会・百人一首大会があります。

そして、地域で行われる紫陽花まつり(文化のつどい)・生野まつり(区民まつり)にも参加しています。

生野においても、少子化や地域コミュニティの希薄化など様々な要因により、子ども会活動が単位会レベルから衰退しております。

そのような問題を克服しつつ、未来を担う子どもたちの健全育成に努め、活気あふれる街になるよう取り組んでいきたいと考えております。



住吉区

ジュニアリーダー部

ジュニアリーダー部は、中学生女子八名が活動しています。

主に、区民まつり等の模擬店の出店、ジュニアリーダー交流会で活躍しています。

模擬店では毎回違った食べ物を出店するので、作る楽しさや買ってくださるお客さんが喜んでくれる事への嬉しさを感じ、その反面で商売をする大変さも勉強しました。

交流会では前もってどんなイベントをするかを全員で考え、みんなに楽し

んでもらう事を第一に思いながら、当日は笑顔で立って頑張りました。
目配り気配りが大変だった面もありましたが、参加者全員が楽しい思い出になったと思います。

次回は一泊して、もっと楽しいイベントにしたいと考えています。

ジュニアにとって一番印象に残っている行事は市の一泊研修会です。

知らない年の違う人達と班行動を通じて協力しあいプログラムを達成していく充実感や日頃体験できない事をするので、とてもいい勉強になりました。

今後も子ども会行事を中心に積極的に活動に参加し、大人にはない感性とパワーで、ジュニアリーダーを盛り上げていこうと思います。

平成二十四年度参加行事

七月二十九日

ジュニアリーダー交流会

八月二十五日

子育てわくわくフェスタ

十月二十七日

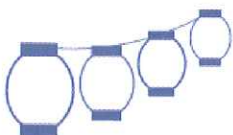
区民祭り

二月十七日

子ども文化祭

三月九日

子どもカーニバル



各区の行事予定

都島区

五月 ソフトボール大会

六月 キックベースボール大会

六月 区こどもカーニバル

六月 こどもドッジボール大会

八月 子どもの生命と安全を守る講習会

九月 区民祭り



西区

六月 キックベースボール大会

六月 ソフトボール大会

七月 夏期巡回こども映画会

大正区

六月 キックベースボール大会

八月 区子連ジュニアリーダー研修

十月 区民まつり

生野区

六月 生野区紫陽花まつり

六月 ソフトボール大会

七月 安全対策講習会

十月 生野まつり

阿倍野区

五月 小学生相撲大会



住吉区

四月 春の交通安全大会

五月 女子キックベースボール大会

八月 ソフトボール大会

八月 ジュニアリーダー交流会



【都合により予定変更あり】

平成二十四年度表彰者

鼓笛隊五十周年表彰者

【表彰状】

第一分隊

第二分隊

第三分隊

第四分隊

第十分隊

第十三分隊

第十七分隊

第十八分隊

第二十四分隊

神野 神本 外本 杉和 小川 小川 仲田 恵比寿 仁尾 森隆 岡本 後藤 藤川 藤川 林川 順彦 第一分隊 第二分隊 第三分隊 第四分隊 第十分隊 第十三分隊 第十七分隊 第十八分隊 第二十四分隊



【感謝状】

第一分隊

第三分隊

第四分隊

山田 徳本 露原 吉田 長井 前川 藤井 向井 公美 第一分隊 第三分隊 第四分隊

第五分隊

第六分隊

第十分隊

第十一分隊

第十三分隊

第十六分隊

第十八分隊

第二十四分隊

藤井 芳川 大嶋 今井 野中 佐々木 稲田 村野 野村 福岡 仲西 牧之瀬 石場 天川 井上 河合 河合 浦出 柴田 木元 瀬戸 田口 小野 流村 田村 小倉 益田 青木 岩崎 秋田 加嶋 長谷川 福永 吉田 仲地 村上 第五分隊 第六分隊 第十分隊 第十一分隊 第十三分隊 第十六分隊 第十八分隊 第二十四分隊

全子連表彰者（米子大会）

平成二十五年二月十五日

鶴見区 綿世 良一
浪速区 坂本 安敏



指定都市表彰者（横浜大会）

平成二十四年十一月三日

住之江区 森下 秀海
住之江区 大本 馨
港区 仲田 俊幸



市子連表彰者

平成二十五年二月十七日

【個人の部】 表彰者

都島区	清友 紀克	中央区	白坂 玉男	港区	乃一 敬一	大正区	東道 美智子	西淀川区	和田 公平	淀川区	福若 守平	東成区	藤岡 正俊	鶴見区	今枝 謙之	住之江区	杉本 和代	住吉区	西川 桂子
-----	-------	-----	-------	----	-------	-----	--------	------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-------

感謝状

都島区	清友 香代子	中央区	白坂 奈津子	港区	乃一 知子	大正区	東道 康樹	西淀川区	和田 佳菜子	鶴見区	今枝 康子	住之江区	杉本 茂樹	住吉区	西川 昌樹
-----	--------	-----	--------	----	-------	-----	-------	------	--------	-----	-------	------	-------	-----	-------

【団体の部】

港区	磯路連合こども会育成会	淀川区	新東三国連合子供会
----	-------------	-----	-----------



編集後記

六つの区子連・鼓笛隊・ジュニアリーダーの皆様にご協力を頂きありがとうございました。

今回は鼓笛隊の五十周年を表紙に持ってきております。

本当に「みんなで つないで つないだ五十年」です。

これからも頑張っていただきたいと思います！

広報部

